



ねりまの文化財

東京文化財ウィーク2024

11月1日から7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。全国で文化財保護と活用を推進を図るため、各種事業が行われます。東京都では、多くの皆様に文化財を身近に感じていただくため、文化の日前後を「東京文化財ウィーク」として、都内全域で様々な文化財の公開事業を実施します。区内では、次の事業を行います。

企画事業 尾崎遺跡の展示解説会

尾崎遺跡(春日町5丁目)は、石神井川左岸の標高35mの低地から台地にかけて立地する遺跡です。春日町5丁目12番の区立春日小学校建設に先立ち、昭和54年(一九七九)・55年に発掘調査を行い、旧石器時代から近世までの遺構や遺物が発見されました。

尾崎遺跡の発掘調査で見つかった出土品について、学芸員が解説します。

【日時】10月26日(土)

①午前10時〜 ②午後2時〜

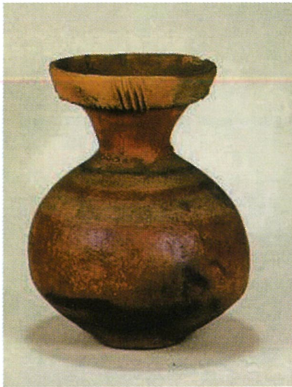
※各回40分程度

【場所】春日小学校1階 資料展示室(春日町5-12)

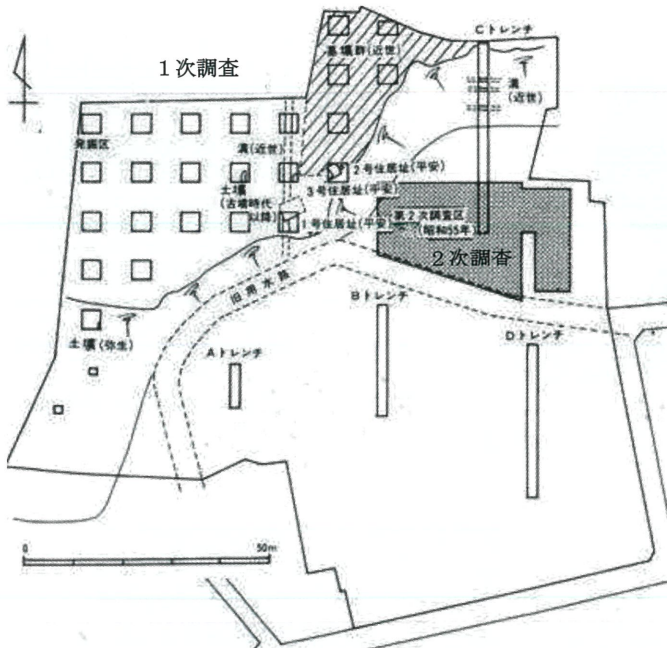
【交通】練馬春日町駅 下車 徒歩8分

【参加費】無料

【定員】各回10名程度



弥生土器(壺)



尾崎遺跡とは

昭和8年(一九三三)に行われた道路工事で、弥生土器(左上の写真)が発見

【申込】申込不要。当日会場にお越しください

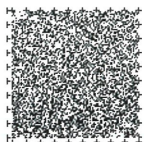
練馬区
地域文化部
文化・生涯学習課
(伝統文化係)
〒176-8501
練馬区豊玉北6-12-1
TEL 03(5984)2442

され、早くから遺跡の存在が知られていました。この土器は、平成3年度に区指定文化財となりました。

昭和54年の1次調査は遺跡の確認調査で、平安時代の竪穴住居3軒、中世や近世の墓壇(ほこり)群と井戸、柱穴等や溝状遺構がみつかりました。昭和55年の2次調査で、低地部から台地部にかかる体育館予定地約800㎡の発掘調査が行われました。1次調査で見つかった遺構は、盛土をして保存しました。

昭和58年(一九八三)に都指定の史跡となり、また、出土品は平成4年度に区指定文化財となっています。遺跡名は、字名(あざめい)をとって尾崎(おさき)と名付けられました。

遺跡を特徴づける発見として、遺跡の低地部で見つかった、縄文時代の始まり、一万六千年〜一万一千年前の中野区の「江古田層」に相当する植物化石層群があります。植物化石は、ハンノキやカラマツ等の広葉樹や針葉樹の木材・種子・花粉等です。当時の自然環境は、現在より寒冷な気候であったことがわかりました。



音声コード Uni-Voice